

大洲市地域おこし協力隊募集要項

[農林振興課・農業（就農）]

大洲市農人「農力隊」～農を知る、農を学ぶ、そして共に生きる～

大洲市の概要

本市は、愛媛県の西部に位置し、県都松山市から約50kmの位置にあることから、八幡浜、宇和島、高知方面への玄関口として広域流通・商業の拠点形成が進むとともに、文化・交流・観光の面でも重要な結節点となっています。

本市の中央には、一級河川「肱川」とその支流の「河辺川」が流れ、流域に沿つて田畠や集落、市街地が形成されており、中央部には大洲平野が開け、西部は瀬戸内海伊予灘に面し、東部は山間部となっています。

また、肱川を活用した「うかい」や、里芋を使った郷土料理「いもたき」は、観光資源として毎年多くの方に楽しんでいただいているところです。

このように、川・海・山を有しているという恵まれた環境と条件により、これまで40品目以上にも及ぶ多種多様な農産物が栽培されている地域であり、1次産業が基幹産業として育まれ、集落や町が形成された地域であります。

多種多様な農産物が生産されている大洲市ですが、一方で特化した農産物がないと言われることもあります。しかし、多種多様な農産物を作ることのできる環境があるということは、限られた品目に特化する必要が無かったとも言え、それがこの大洲市の豊かさともとらえることができると考えられます。

現在は、地元JAである愛媛たいき農業協同組合（以下、愛媛たいき）が、地域農産物の価値向上を図るため、農薬や肥料の使用回数を県で定める基準より減らし、独自の基準にて栽培したものを「エコラブ」のブランド名で販売する取組を行っており、今までに「エコラブトマト」「エコラブスイカ」「エコラブハクサイ」「エコラブイチゴ」の4品目を販売しているところです。

大洲市の地域課題

大洲市内では、専業・兼業を含めて多くの市民が農業と関わっています。

しかし、農業従事者においては高齢化率が上昇し、また合併当時は5万人を超えていた人口が、現在は4万人未満まで減少し、農業分野だけではなく幅広い分野で後継者、担い手の不足が進行している状況であり、今後も急速な進行が見込まれています。

このまま後継者、担い手（農人）の確保が出来ない場合、全国でも上位の生産量を誇る「キウイフルーツ」「クリ」「乾シイタケ」や大洲市主要農産物である「イチゴ」「キュウリ」「スイカ」「トマト」の生産量減少による地域農業の衰退のほか、耕作放棄地の増加による近接農地への悪影響、農業により育まれた地域の独自の景観・文化の喪失などが懸念されるところです。

大洲市での新規就農者は、Uターンなどによる親元就農が主でしたが、近年は後継者となりうる若者の都市部への流出により、親元就農による新規就農者が減少しており、今後は非農家やIターンなど市外からの移住者による新規就農や担い手の確保の必要があると考えています。

そのような中、本市においても国や県の制度を活用し、愛媛県大洲農業指導班（以下、県指導班）や愛媛たいきと連携しながら新規就農の支援を行っています。

そして、愛媛たいきにおいては、新規就農を希望する方の受け皿となる農業研修施設を平成30年度に開設し、現在1名が新規就農を目指して研修を受けている状況ですが、新規の研修生が現在のところ増える見込みがなく、将来の担い手不足の解消にはまだ至っていないところが現状です。

協力隊に期待する役割

大洲市の各地域を回りながら大洲市の農業を知るとともに、農業研修施設で農業の基礎や、市内の先輩農家の方から大洲市やその地域に適した農業を学びながら、退任後の農業による生活スタイルを計画していただきたいと思います。

特に、大洲市の主要農産物としてチカラを入れている「イチゴ」「シャインマスカット」「キュウリ」の品目について、農業研修施設にて学び、協力隊退任後には、大洲市主要農産物の新たな担い手として、大洲市農業の即戦力として活躍いただきたいと考えています。

あわせて、大洲市の農業衰退を防止し、共に大洲市農業を守る仲間として、大洲市の農業や新規就農者などの情報を、SNS等を通じて広く発信し、大洲市農業の発展及び活性化を図っていただきたいと思います。

また、自身や新規就農者の経営農地とするため、地域の農業者や農業関連団体と協力し、耕作放棄地の耕作可能な農地への復旧を行うことで、立地条件の良い農地の確保を図り、新規就農者の増加につながる活動をしていただきたいと思います。

協力隊にもとめる人物像

まずは、農業に興味がある方で、地域の農業に関わりたいと考えている方、そして、地域の住民の方と積極的にコミュニケーションが取れる方に来ていただきたいと考えています。

そのため、事前に大洲市に来ていただき、地域の農業を見て、そして感じていただいたうえで応募いただきたいと思います。

また、大洲市の農業や農産物を全国に発信していきたいと考えていることから、地域の魅力を見つけ、情報発信（特にSNS等）を得意とする方、そして、農業に関わる色々なことについて活動していただきたいことから、自ら思考し、チャレンジすることができる方を求めています。

最終的には、大洲市に定住していただきたいことから、中山間地域での定住を考えている方についても求めています。

大洲市の会計年度任用職員として採用し、事務処理等も発生することから、パソコン等を日常的に利用し、一般的に操作が出来る方（主にエクセル、ワード、パワーポイント）であること、また中山間地域への移動も多いことから、普通自動車免許を有している方を条件とします。

3年間の活動イメージ

1年目は、受入当初は主に各地域の農業について、担当職員及び現役地域おこし協力隊員と回りながら地域の農家や農業関係者との情報交換を行うとともに、市内にある農業研修施設にて農業の基礎や知識、栽培技術の習得を行います。

合わせて、サポートチームと退任後の栽培品目や栽培計画などの協議を定期的に行い、退任後のビジョンを少しづつ明確にしていきます。

2年目は、引き続き農業研修施設にて農業の知識や技術を習得するとともに、自分が興味のある農業研修施設で習得できない品目について、市内の先輩農家の元で研修を行います。

また地域の情報の中から、自分の農業スタイルにあう営農地域を選定し、そこでの農地情報についてサポートチームと協力しながら収集していきます。

3年目は退任後のための準備をしていきます。

そのため、営農地域において農地の取得（貸借）を進めるとともに、退任後を見据えて農地の耕作準備や試験的な栽培を行い定住に向けての準備を行います。

そのほか通年で、日々の活動について、大洲の農業や地域の歴史・文化等を、SNS や冊子等により市内外に定期的に情報の発信を行い、大洲市での新規就農者や関係人口の増加を図っていきます。

協力隊の任期後のイメージ

大洲市の主要農産物（イチゴ・キュウリ・スイカ・トマト）の農家は、高齢化と後継者不足のため、農業者からも「数年後には現在の半数以下になるのでは」と危惧する声が聞かれます。そのため、大洲市の主要農産物の生産量維持も含めてこれら主要農産物での新規就農を目指していただきたいと思います。

また、この主要農産物のほか、地域の新しい農産物の栽培普及も模索していき、愛媛県が進める年収1000万円の農業スタイルの確立を図り、大洲市スタイルを全国的に発信していただくことで、より多くの新規就農者が集う大洲市を目指していければと思います。

そのためのイメージリーダーとして活躍いただきたいと考えます。

活動や暮らしのサポート体制

活動のサポートについてですが、まず県・市・JAで構成するサポートチームでは、新規就農のための5年間の営農計画の作成をサポートします。

そして、市内の県農業指導士や農業研修施設においては、農業の基礎や技術、知識習得のサポートを行い、愛媛たいき農協や就農先の地域の先輩農家では、就農後の栽培サポートを行います。

大洲市においては、就農するための農地斡旋や、新規就農に係る補助金、交付金の紹介や申請支援を行います。

【関係機関】大洲市農林振興課、農業研修施設「Pi-Nokyo たいき」など

次に、移住等に関する支援ですが、大洲市にて定住先の空き家等の住宅斡旋や、移住に係る補助金制度等の紹介を行います。

【関係機関】大洲市地域振興課（大洲市移住・定住支援センター）など

協力隊を希望する方へのメッセージ

大洲市は川、海、山がある自然あふれる地域であり、全国でも上位の生産量を誇る「キウイフルーツ」「クリ」「乾シイタケ」のほか、多種多様な農産物が栽培されている豊かな地域です。

特に「イチゴ」「キュウリ」「スイカ」「トマト」は、地元 JA（愛媛たいき農業協同組合）が農薬や肥料を県で定めている基準より削減し、環境に配慮した形で愛情をこめて栽培している「エコ」で「ラブ」な農産物を「エコラブ」のブランドをして販売しており、通常の農産物と比べてもとても美味しい、愛を感じます。

ただ、近年は生産者の高齢化も進み、また担い手も不足していることから、今後の生産量や栽培技術の継承に不安が生じています。

そのためにも、大洲市の現在の農業を知り、大洲市の農業を学んで、大洲市で農業とともに生活していき、大洲市の農業の力（チカラ）で地域の活性化と一緒に図っていきましょう。

その他条件等	
募集対象	<p>次のいずれも満たす方を対象とします。</p> <p>(1) 地域住民と積極的に関わる意欲のある方 (2) 心身が健康で、地域協力活動の内容を理解し、地域活性化への意欲がある方 (3) 応募時点で、3大都市圏をはじめとする都市地域、または地方都市等に住所を有し、居住しており、採用後大洲市に住民票を移して居住できる方 (4) パソコン操作（ワード・エクセルの操作・SNSでの情報発信等）ができる方 (5) 普通自動車免許を有している方 (6) 地方公務員法第16条に規定する欠格事項に該当しない方</p>
募集人数	1名
勤務地	大洲市内全域 〔基本的には大洲市役所（大洲市大洲690番地の1）にて勤務〕
勤務時間	<ul style="list-style-type: none"> ・原則1日7時間（8：30～16：30※1時間の休憩を含む） ・週5日平日勤務 <p>※土・日・祝祭日に勤務した場合は平日に振替休とします。</p>
活動開始日	令和8年7月1日以降
雇用形態等	<ul style="list-style-type: none"> ・大洲市会計年度任用職員（パートタイム）として市長が任用します。 ・地方公務員法に基づく服務の各規程が適用されます。 ・雇用期間は、活動開始日から1年間とし、活動に取り組む姿勢、業務の成果等により、任用した日から最長3年まで再任できます。
報酬	<p>月額 260,000円</p> <p>※賞与・期末手当・退職手当・時間外手当等は支給しません。</p>
待遇・福利厚生	<ul style="list-style-type: none"> ・任用期間中の住居は、市が市内で借り上げた物件を貸与します。（住居に係る共益費及び光熱水費等は個人負担） ・社会保険等（健康保険、厚生年金及び雇用保険）が適用されます。 ・職務時の怪我等は、市の非常勤職員公務災害補償制度が適用されます。 ・職務時は、公用車を使用することができます。 ・職務で使用するパソコンは貸与し、市のインターネットを利用することができます。 ・職務専用のメールアドレスを付与します。 ・職務で要する経費（旅費・消耗品等）は、市が負担します。 ・将来の自立に向けた副業は可能です。

応募手続等	<p>(1) 応募期間 令和8年1月20日（火）から令和8年6月30日（火） ※応募書類必着</p> <p>(2) 提出方法及び応募書類 次に記載の書類を持参もしくは郵送にて提出してください。 なお、提出された応募書類等は返却しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募用紙 ・レポート ・住民票 ・自動車運転免許証の写し <p>(3) 応募先 〒795-8601 愛媛県大洲市大洲 690 番地の1 大洲市総合政策部地域振興課（担当：森）</p>
選考方法	<p>(1) 第1次選考(書類選考) 書類選考のうえ、選考結果を応募者全員に通知します。</p> <p>(2) 第2次選考(面接選考) 第1次選考の合格者を対象に、面接選考を行います。 (日時、場所等は第1次選考結果通知後、改めて通知します。) なお、面接に必要な旅費等の費用は、自己負担となります。</p> <p>(3) 結果発表 第2次選考終了後に結果を通知します。</p>
その他	<p>[募集・協力隊・移住に関すること] 大洲市総合政策部地域振興課（担当：森） TEL : 0893-57-9989 E-mail : chiikishinkouka@city.ozu.ehime.jp</p> <p>[活動内容に関すること] 大洲市農林水産部農林振興課（担当：白岩） TEL : 0893-24-1727 E-mail : tomokazu.shiraiwa@city.ozu.ehime.jp</p> <p>大洲市に来たことが無い方は、書類を提出する前に大洲市に来られることをお勧めいたします。オンライン相談や現地の見学は希望により随時実施しますので、ご相談ください。</p>